

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	日本建築史小委員会		主 査 名： 光 井 渉 就任年月：2011 年 3 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：伊藤 毅 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本建築史研究成果の情報交換 ・ 日本建築史研究の活性化 ・ 日本建築様式史の再構築を目指した研究会・シンポジウムの開催 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 光井渉(東京芸術大学)・大野敏(横浜国立大学)・川本重雄(京都女子大学)・藤井恵介(東京大学)・羽深久(札幌市立大学)・高橋恒夫(東北工業大学)・吉田純一(福井工業大学)・大和智(文化庁)・麓和善(名古屋工業大学)・波多野純(日本工業大学)・谷直樹(大阪市立大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 当初計画の通り、日本建築様式史の再構築に関する討議を3回を行った(江戸大名屋敷作事記録を読む、中世建築における様式研究の再考、東アジアの宮殿建築と儀式)。 2. いずれも他分野の研究者を含めた討議が行われ、当該分野の研究促進および成果公開に大きな効果があった。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 日本建築様式史の再構築に関する討議の成果のとりまとめが若干遅れている。 2. 震災対応業務との関係もあり、研究企画の実施が困難になっている。